

# Z会進学教室 葛西通信 11月号

葛西教室に通う本科生の皆さんは、以下の四点を心がけるようにしましょう。

- 1 進学塾に通う中学生としての自覚を持つこと。
- 2 信頼の土台となるあいさつをきちんとすること。
- 3 書くことを大切に、ノートをしっかりとること。
- 4 自習室を上手に利用し、自分で考えてもわからないことは遠慮なく先生に質問すること。

卒業生より

葛西教室を巣立っていった皆さんの先輩からのメッセージです。

## 「みんな知っているけど、やろうとしない勉強法」

東京大学教養学部2年 修行中 さん

こんにちは。私は、葛西教室の卒業生（2期生）で、現在大学2年生です。経歴をまとめると、2017年区立中卒業・日比谷高入学、2020年日比谷高卒業・東京大入学、2022年東京大医学部進学（予定）、です。つい先日、「試験の出来で順位を決め、上の順位のものから合格していく」という高校入試、大学入試、大学内の競争で続いてきた制度から卒業し、今はほっとしています。同時に、それら3つ全てで第一志望を実現でき、そろそろ大きな挫折が来るのではないかと怯えています。医学部への進学を葛西教室の先生や教務の方々に報告させていただいた際に、葛西通信11月号を書かせていただけることになりました。この文章では、僕がやっていた「みんな知っているけど、やろうとしない勉強法」について書いていこうと思います。

「みんな知っているけど、やろうとしない勉強法」とは、「1日の中で、生活に必要な時間（食事、睡眠等）を除いて、残った時間をほぼ全て（95%~100%）勉強にあてる」というものです。ここで、皆さんに質問があります。生活に不可欠な時間以外を全て勉強に捧げている人は、入試に合格すると思いますか？多くの方が、この人は合格すると思うでしょう。そして、私こそが「この人」なのです。以下で、中高6年間のスケジュールをまとめましたが、中3の9月以降、高3は暇な時間の95%以上

を勉強にあてていたと思います（高2は90%以上）。暇な時間を全部勉強に回せば受かるだろうかと、みんなわかっています。なのに、色々な理由をつけて、やろうとしません（長時間勉強をしなくても成績が良い方は別です）。「疲れた」とか、「高2から頑張りすぎると、高3で失速する」とか、「ガリ勉だと思われたくない」等々。おそらく、この文章を読んでも、「確かに浮いた時間を全て勉強に回せば受かるのはわかったけど、コイツは長時間勉強する才能（あるいは、能力）があっただけだろwww」と嘲笑（←これも言い訳？）して終わりというのがほとんどでしょう。そういう人達が大



授業後即復習  
日比谷高校内280位/320人  
前年にアミノ酸出題  
夏イベント「先輩に聞く」

東京大学  
努力  
医学部進学予定

1日95%、勉強

2K春期講習確認テスト偏差値50  
木曜日御茶ノ水教室遠征  
日比谷高校合格

スマホレス生活

「絶対に歩みを止めないことです。」

半を占め、彼らが言い訳をして勉強から逃げている間に、最初は2K偏差値50だった私が毎日コツコツ積み重ねて、日比谷や東大に受かることができたのだと思います。この文章で大学生活については深く触れませんが、大学でも同じことです。「医学部進学は超難関」という噂話に過度に反応して、「医学部は宇宙人が行く場所」とみんな勝手に自分とは関係のない話だと思ってしまうのですよね。まずはこのような言い訳や先入観をなくして欲しいです。そして、「東大生が教える勉強法」や「効率の良い暗記法」などの勉強方法に飛びつきたくなる気持ちも十分わかりますが、机に向かう時間を増やすという最もシンプルな方法があることを忘れて欲しくありません。

以下で、中高6年間（11月がメイン）とちょっとしたアドバイスをなるべく詳細に書いたつもりです。皆さんの参考になれば、と願います。

## <中1の11月>

平日は、7:00起床→8:00~18:30学校と部活（卓球部）→19:00~21:30卓球→22:00~22:30勉強→23:00就寝、休日は、8:00起床→9:00~17:00卓球→17:30~18:30勉強→23:00就寝、といったスケジュールでした。何をしていたか記されていない時間は、テレビやインターネットなどの娯楽や、風呂や歯磨きなどに費やしていました（以下同様）。中学1年生の時は、部活ばかりやっていて、勉強をほとんどしていませんでした。部活で疲れ過ぎて、帰ってきたらそのまま寝たりする日もありました。Z会に通われるような方は経験したことがないかもしれませんが、勉強をしない日が続くと、漢字が書けなくなっていく（忘れていく）現象が起きます。「曜日の『曜』ってどうやって書くのだったけ？あー、黒板に書いてあるわ」みたいな感じになっていました。中学校の順位は大体60位くらいでした。勉強をしていなかったのが当然成績は良くなかったのですが、部活動を本気でやっていたので、部活の試合では結果が残せるようになっていきました。1年生にもかかわらず、スタメンで起用していただいて、10月の区大会で3位入賞し、12月に行われる都大会に向けて必死に練習していたのをよく覚えています（区大会では、計8回入賞しました）。



## <受験勉強とスマホ>

1つ上の学年の話に移る前に、このように少し別の話を書いていこうと思います。私は、中学2年生になる直前に、自分のスマホを手放しました。理由は、時間が無限に吸い取られる感覚が嫌だったからです。その後、高校に上がっても、スマホを持たず、大学生になってから持つようになりました。私の時代は、中学校ではクラスの半分くらい、高校ではクラスのほぼ全員、大学では全員がスマホを所持していました。中高6年間を通じて、スマホを持っているが故に、勉強が手につかず、受験で悔しい思いをする人をたくさん見てきました。そもそも、学生にスマホが必要な理由って何でしょうか？私自身中高5年間スマホを持っていませんでしたが、困ったことは1回しかありませんでした。それは、LINE上で急遽集合場所が変更され、元の集合場所を2時間探し回ったことです。この事件直後はスマホを持っておけばよかったと後悔しましたが、スマホを持っていたら、2時間の数倍、数十倍、数百倍を失う可能性が十分にあったので、結局持っていなくてよかったです。持たない選択をするのがベストだと思いますが、今の時代そういうわけにはいかないのかもしれませんが。私のスマホとの付き合い方の指針は、「ビジネスであると理解して使う」です。



皆さんの中にも、無料だと思って、TwitterやInstagram、YouTubeを使っている方も多いと思います。確かに使用料は無料かもしれませんが、皆さんがTwitterを見れば見るほど儲かっている会社があります。それって、悔しくないですか？なので、私は「お前らの企業には貢がないぞ」という心意気で使っています。平均的なスクリーンタイムは2分くらいです（朝チェックして終わり）。

## <中2の11月>

平日と土曜日は、中1の平日と休日と同じようなスケジュールで過ごしていました。日曜日は、8:00起床→9:00~12:00部活→13:00~20:00Z会→23:00就寝、といったスケジュールでした。Z会には中2のはじめ（春期講習）から入りました。入った当初は成績が良くなく、ちょうど偏差値50くらいで、親は「こんなに成績が悪いのに、入って良いのですか？」と聞いたらしいです。11月とは何の関係もないのですが、中2の間で鮮明に覚えているのは、夏期講習確認テストで、教室1位になったことを教務の方々に祝福していただいたことです。なぜ1位になったのかはよくわかりませんが、授業の前後に自習室を使っていたのが大きいのかなと思います。当時、自習室を使う2年生はあまりいなかったような気がします。それに加えて、Z会は放任主義で、いちいち宿題チェックなどを行わない授業が多いため、宿題等をあまり本気でやらなくてもバレない環境だったのも大きかったと思います。自分はZ会の学習はZ会の自習室で終わらせていました。具体的には、授業が終わったら、自習室に行って、その日に習った内容を復習して、明日の内容を予習して、という感じです。18時くらいに授業が終わって、19:30くらいでそのサイクルが終わることもあれば、21時までかかることもありました。一通り終わったら、家に帰って、好きに過ごしていました。メリハリをつけて、短時間で集中的に終わらせたことが成績の伸びにつながったのかなと思います。さて、11月に話を戻しましょう。中2の11月は結構勉強



していた記憶があります。というのも、2Kから3KTに行くためには、中2の12月と2月の試験が重要な判断材料になると聞いていたからです。授業がある日曜日だけでなく、部活がオフだった水曜日でもZ会に通うようになりました。各教科やっていたことは、授業の復習です。2Kは2ヶ月に1回試験があったのですが、2ヶ月前や1ヶ月前の内容は意外と忘れていたことが多くて、その見直しを行っていました。具体的には、国数英全て、テキストの問題を、配られた解答を用いて、解き直していました。結果的には、12月も2月も納得のいく成果を出すことができ、3KTに入ることができました。

## <自習室>

私の中高のスケジュールを見ればわかるように、家ではほとんど勉強せず、主に塾の自習室で行っていました（大学時代は、新型コロナウイルスの感染拡大で、家でやらざるを得なくなったのですが）。受験生にとって一番大事な時間帯は、16:00~22:00くらいだと思います。一方、社会人にとって一番大事な時間帯は、8:00~17:00くらいではないでしょうか。つまり、受験生と家族の集中すべき時間帯がずれているのです。受験生が本気で頑張るべき時間帯に、家族（社会人）は、1日の中で頑張るべき部分を終えて、家に帰ってきます。その中で勉強を始める（続ける）のは結構大変で、家族が見ているテレビを私もそのまま見ることが多かったため、Z会の自習室を使うようになりました。Z会では、一番大事な時間帯が14:00~22:00で、教室にいる全ての人が戦闘態勢なので、家よりも格段に集中しやすかったです。

## <中3の11月>

平日は、8:00起床→8:30~16:00学校→16:30~22:00Z会→22:30~23:30勉強→24:00就寝、休日は、8:00起床→8:30~9:30勉強→10:00~22:00Z会→22:30~23:30勉強→24:00就寝、といったスケジュールでした。起きる時間を遅めにして、学校にはギリギリ遅刻にならない時間に登校していました。部活を



「修行中」式おすすめスポット②

## 総合図書館

引退した後（8月）、Z会の自習室で勉強したほうが捗るのか、家で勉強したほうが捗るのかを確かめるために、2週間のうち、前半1週間はZ会の自習室のみ（木曜日は御茶ノ水教室）、後半1週間は家のみで勉強してみました。その結果、断然前者の方が集中できたので、上記のように、授業の有無にかかわらず、Z会に通い詰めるというスケジュールになりました。振り返ると、11月は結構苦しんだ月だったと思います。Z会の自校作成用の模試で日比谷志望者の中で56位/59人中を叩き出し、外部の模試でも内申点が日比谷志望としては低すぎて（38点、最終的には41点でした）、C判定を連発していました。ただ、人生で初めての受験だったからか、模試

の結果を全く気にしていませんでした。学校でも内申点が決まる期末考査があったため、気にする暇もなかったのかもしれませんが。学校の定期試験対策もZ会の自習室で行っていて、テストが近づいた時は、Z会の勉強は宿題程度に抑えて、学校の勉強をメインに行っていました。定期試験の当日は、手が震えていました。この試験の結果次第で、都立入試の自分の持ち点が変わるので、結構緊張していたのでしょう。結果として、学校の定期試験は最初で最後の1位を取ることができ、これで日比谷を受けても恥ずかしくないなとか思っていました。11月に勉強したことを書くと以下ようになります。国語は新規の問題をあまり解かずに、3SJや過去のテキストの問題を復習していました。数学は授業でやった問題の復習をしたり、いただいたプリントの問題を解いたりしていました。英語は授業の予習復習しかしていませんでした。理科は、全国高校入試問題正解という各都道府県や難関私立高の入試問題が収録された問題集を片っ端から解いていました。社会は、毎日ザビエル（プリント教材）をやっていました。全教科授業の予習復習は行っていました。

### <定期試験の対策>

主に、中学生に向けてのアドバイスになります。中学校の定期試験の問題はなるべく捨てずにとっておいた方が良いです。何回か定期試験を受けたことのある方はわかると思いますが、定期試験は先生によって出題の仕方が異なります。例えば、問題集と同じ問題を出してくれる先生や、見たことのない新作問題を出してくる先生などがいます。私が中学3年生の時、社会科の先生が変わりました。今までの先生では問題集の解答を覚えれば満点近く取れたため、問題集メインで勉強して臨んだところ、84点でした（評点は4）。そこで、その新しい先生の問題を分析すると、「新作問題はあるが、そのヒントは資料集に載っている」という結論を得て、資料集メインで勉強する方針に切り替え、中間は97点、期末は94点で、評点を5にすることができました。定期試験の傾向を把握することは重要だと思います。

### <高1の11月>

平日は、7:00起床→8:00~18:00学校  
→19:00~22:00図書館→24:00就寝、休日は、7:00起床→9:00~12:00部活→13:00~19:00図書館  
→19:00~22:00Z会→24:00就寝、といったスケジュールでした。11月はちょうど勉強に本腰を入れ始めた時期でした。私は高校に入って9月くらいまで遊びまくっていましたが（勉強を全然しなくなっていました）。部活の友人の優秀な成績を聞いて、「俺はそんなに勉強ガチ勢じゃないからなあ」と言っていました。ところが、高校で受けた最初の模試（結果は280位/320人中）が返ってきて、さすがに勉強しないとやばいなと思い、10月から心を入れ



「修行中」式おすすめスポット③

どこかしらの  
小道

替えました。すると、すぐに成績が上がり、11月に返却された模試では60位くらいに上がりました。なぜそんなにすぐ伸びたのかは、2Kで初めて1位になった時と同じように、よくわからないのですが、高校で扱う内容が中学よりも難しくなったからだと思います。古典は活用や単語をある程度覚えないと文章自体が読めなくなるし、数学は場合分けや論理などの中学ではなかった分野が登場し、英語は英文和訳等で正確にきちんと読めていることが求められます。それらはどれも2、30分の勉強で簡単にマスターできるものではなく、じっくり考えながら取り組んで、徐々に身に付いていくものだと思います。上のスケジュールのように、私は毎日コンスタントに3時間勉強できていたので、解いている問題の量も多かったし、考えている時間も長かったので、その成果が出たのかなと思います。さらに、勉強に対して主体的に取り組むことができるようになったのも大きかったと思います。宿題を終わらせたならOKという考え（この考えは高校に入ってからのもです）で以前まで取り組んでいましたが、22:00まで図書館に残ると、20:30には宿題は終わり、後の1時間半は何もすることがなくなりました。そのときに、模試が近いときは数学の問題を解きなおしたり、古典を得意にするために品詞分解を試みたりと、自分で考えながら取り組んでいました。とは言っても、22:30くらいに家に帰ってきて、その後の1時間ほど、卓球の動画やおもしろ動画をYouTubeで見っていたので、そこまで自分を追い込んでいる感覚はなかったです。勉強は図書館と電車の中でしかやっていなくて、勉強と遊びの切り替えがうまくできていたのかなと思います。

### ＜入試が終わると、めっちゃくちゃ暇＞

入試が終わった後の3月は、人生で最も暇な期間だと思います。受験に向けて、勉強ばかりをしていると、勉強以外のことをやりたくなる時もあります。そうなった時は、何とかしてその気持ちを我慢してほしいです。私の大学受験の大晦日の話をしましょう。いつも通り、塾の自習室で勉強をして、22:30頃に家につきました。家では、家族がすでにテレビを見ていて、気を遣って、私の見たい番組に変えて良いと言ってくれました。そこで、私の大好きな番組に変えましたが、10秒ほどで、もともと家族が見ていた番組に戻しました。その時は、「入試が終われば、テレビなんて無限に見られるから、今見る必要はない」と家族に伝えました。その後、すぐに寝て、元旦も6:30くらいから勉強を始めることができました。大学入試が終わり、最初に見た番組が大晦日に我慢した番組で、今でも印象に残っています。これを読まれる皆さんも、遊びたい気持ちを我慢して、入試にしっかり受かって、入試後に最高の気持ちの中で遊んでほしいです。

### ＜高2の11月＞

平日は、6:20起床→7:20~18:00学校→19:00~22:00塾→23:00就寝、休日は、7:00起床→9:00~12:00部活→13:00~22:00塾→23:00就寝、といったスケジュールでした。高2の11月はあまり覚えていません。おそらく勉強ばかりしていたのでしょう（←これが高3の模試で良い判定を出すきっかけになったと思われます）。高1の時と変わった点は、朝学校で勉強するようになった点です。寝る時間も早くなり、遊ぶ時間は少なくなりましたが、それでも毎日30分ほどはネットサーフィンをしていたため、全然きつくなかったです。この頃は学校内の成績も安定していて、定期試験は40位くらい、模試は20位くらいをうろろしていました。



### ＜模試＞

主に、高校3年生向けの話になります。受験生の方は大学別の模試（例えば、東大実戦や京大OP）を受けていくと思いますが、その復習をきちんとやった方が良いと思います。なぜなら、大学別の模

試は入試の最高の予想問題になることが多いからです。例えば、東大の化学では、高分子化合物が出題される傾向がありました。高分子化合物とは、ざっくり言うと、糖、アミノ酸、核酸、樹脂からなる分野です。私が受ける前々年にアミノ酸が、前年に樹脂が出題されました。となると、私が受ける年は糖か核酸が出題される可能性が高いです。さらに、核酸は問題が作りづらく、入試問題として出題されることは稀です。ということは、私の年は糖が問われる可能性が高いと容易に想像できます（当時はそのようなことを考えていませんでしたが）。実際に、秋の東大実戦・OP両方で、糖が出題されました。つまり、大手2予備校も、来年は糖が出題されると考え、問題を作成していました。そしてなんと、本番で糖が出題されました！各予備校は入試の傾向を踏まえて、模試の問題を作成しているため、入試直前でやる題材に迷ったら、模試の復習をするのも良いと思います（私は、入試と同じ時間設定で、もう一度解き直していました）。

## <高3の11月>

平日は、6:20起床→7:20~15:20学校→16:00~22:00塾→23:00就寝、  
休日は、6:20起床→7:00~12:00勉強→13:00~16:00勉強→16:30~22:00勉強→23:00就寝、といったスケジュールでした。高3の11月は2回の東大模試が印象に残っています。8月の東大模試では、A判定が出ていて、冊子にも載りました。秋の東大模試でもA判定を取れるだろうと思って受けたら、結果はBとCでした。あと1点でAのB判定、あと3点でBのC判定だったと記憶しています。模試の判定に一喜一憂してはいけないうまく言われますが、それはその通りで、私は判定よりも順位が大事だと思います。例えば、C判定だったとしても、定員550人中の400位だったりします。400位/550人中を本番で出したら、それは合格です。逆に、定員550人に対して800位とかだと、模試を受けた日から本番までに250人ほど抜かさなければならず、かなり頑張る必要があるということです。河合・駿台の東大模試は、東大合格者の90%以上が受けているらしいので、自分が目指す科類の定員から1割を差し引いたものより、自分の順位の数字が小さければ、例えC判定であつたとしても、そこまで落ち込む必要はないと思います。大切なことは、模試の結果にかかわらず、絶対に歩みを止めないことです。勉強をするときは、集中力MAXの状態で行うのが理想ですが、集中力が続かない時は誰にでもあると思います。そういう時にすぐ勉強をやめるのではなく、頭をあまり使わない暗記系の科目に勉強内容をチェンジしたり、音読をしたりするをお勧めします。そうすると、自然と集中力が回復します。私はよく、数学や理科で頭を使う難しい問題を解いた後、倫理政経の1問1答をやったり、古文単語の確認をやったりしていました。



## <なぜ私が長時間勉強するようになったのか？>

高校受験の時、私が長時間勉強するようになったきっかけは、「先輩に聞く」というイベントでした。私の1つ上で葛西教室から日比谷に合格された方が、平日は毎日17時には絶対勉強を始めて、22時くらいまでやって、朝も1時間ほど勉強していたと話していました。その先輩と私の中3の成績の差はかなりあったので（当然、先輩の方が上です）、私は先輩より多く勉強しないと絶対に受からないなと思いました。そこで、私は毎日16:30にはZ会に行くようにして、22時まで勉強、さらに家に帰ってから1時間勉強するようになったのです。

大学受験の時のきっかけは、東大トップ合格の方の体験記でした。その方は、平日は7時間、休日は14時間ほど勉強していました。当時、首席にはずば抜けて才能がある人かなと思っていたら努力型の人で、とても驚きました。体験記のタイトルも「99% perspiration (99%努力)」で、私もこの人みたいに勉強しまくったろうと一念発起しました。

## <最後に>

中学生の自分は、受験は才能と地頭の良さで決まるのかなと考えていました。実際、中学3年の時、自分は葛西教室の9番か10番くらいで、駿台模試で葛西トップのK君の名前が載っているのを見て、「K君、どんな頭の構造しているんや・・・」とずっと思っていました。3年後に、自分の名前が東大模試に載り、今度は自分が高校の友人に「凄すぎる」などのお褒めの言葉を頂くようになりました。

その時に、「受験には才能や地頭も多少関係してくるが、それらは努力で十分補える」と強く感じました。高校受験、大学受験、大学内の競争3つ全てを制することができた者として、皆さんに何か偉そうにアドバイスできることがあるとすれば、「とにかく勉強時間を増やす、凡事徹底せよ」ということです。一番シンプルな方法が、一番の近道だということを伝えたいですね。葛西教室の生徒の皆さんのますますの飛躍を願っています。最後まで読んでいただき、本当にありがとうございました。

-----🌸アガキ🌸-----

ここまでお読みいただきありがとうございます！編集を担当した宮脇です！いかがでしたでしょうか！恥ずかしながら私はテレビの中でしか現役東大生を見たことがないので、生身の東大生ってこんなこと考えているんだなと感心してしまいました。

その一方で、「修行中さんの紹介文には教養学部って書いてあるのに、医学部進学予定ってどういふこと？」と、学部に興味を抱かれた方も多いのではないのでしょうか？

今回はあとがきとして東大の学部制度についてお伝えしたいと思います。

東大には法学部、経済学部、教育学部、文学部、教養学部、工学部、理学部、農学部、薬学部、医学部の10学部が設置されていますが、入学後の2年間は教養学部で割り振られ、1年半は様々な学問の基礎的な部分を勉強していきます。上に挙げた学部に進み、より専門的なことを学ぶのは大学3年次からとなります。

2年生の前半が終了すると、3年次に進学する学部決めが始まります。この学部決定のことを「進学選択（進振りとも呼ばれます）」と言います。2年生の後半は、3年次の学部に合わせて授業を受けて、さらに専門的な知識を身に付けていきます。この進路選択は成績がすべてです。東大内の成績上位の人から順に行きたい学部を選ぶことができます。

進振りは大雑把に言うと「大学に入学した後に将来を決定することができる」という制度です。この制度には「広い世界を少しずつ味見しながら、自分の興味を専門分野にすることができる」という面もあれば、「人気の学部へ確実に進むために大学入学後も猛勉強する」という面もあります。修行中さんはどちらに値するのでしょうか。東大で医学部に進む人は理科三類出身の方が多いのですが、修行中さんは入学時は理科二類だったそうです。理科三類以外から医学部へ進学する人は、所属する類の必修科目に加えて、医学部に関する科目を履修する必要があります。医学部という狭き門を突破するためには、授業を履修するだけでなく、1年生の前期から期末試験で良い成績を修めなければいけません。本通信冒頭にもありましたが、修行中さんは東大生ですら「宇宙人が行く場所」と評する医学部を目指し、1日の95%を勉強に捧げ、見事勝ち取ったのです。進振りがある東大ならではのドリームではないでしょうか。

最後までお読み頂きありがとうございます。修行中さんが送ってくれた写真～東京大学のアドミッションポリシーを添えて～であとがきを締めたいと思います。

※「修行中」式東大おすすめスポットはフィクションです。



国内外の様々な分野で指導的役割を果たしうる「世界的視野をもった市民的エリート」(東京大学憲章)を育成する

スケジュール							
月	日	曜	受付	本科生スケジュール			本科生以外の方対象のイベントなど
10	27	水	14 ~ 22	本科11月度①			
	28	木		休室			
	29	金	14 ~ 22				
	30	土	14 ~ 22				
	31	日	10 ~ 20	本科11月度②			
11	1	月	14 ~ 22				
	2	火	14 ~ 22				
	3	水	14 ~ 22				
	4	木		休室			
	5	金	14 ~ 22				
	6	土	14 ~ 22				
	7	日	10 ~ 20	本科11月度③			
	8	月	14 ~ 22				
	9	火	14 ~ 22				
	10	水	14 ~ 22				
	11	木		休室			
	12	金	14 ~ 22				
	13	土	14 ~ 22				
	14	日	10 ~ 20	本科11月度④			10:30~11:30 冬期説明会
	15	月	14 ~ 22				
	16	火	14 ~ 22				
	17	水	14 ~ 22				
	18	木		休室			
	19	金	14 ~ 22				
	20	土	14 ~ 22				14:00~16:50 中1中2学力診断テスト
	21	日	10 ~ 20	本科12月度①	2V 月例テスト	1V 月例テスト	
22	月	14 ~ 22					
23	火	12 ~ 22		中3 駁台模試			
24	水	14 ~ 22					
25	木		休室				
26	金	14 ~ 22					
27	土	14 ~ 22					
28	日	10 ~ 20	本科12月度②			9:30~13:00 冬期準備テスト	
29	月	14 ~ 22					
30	火	14 ~ 22					
12	1	水	14 ~ 22				
	2	木		休室			
	3	金	14 ~ 22				
	4	土	14 ~ 22				15:00~16:00 冬期説明会
	5	日	10 ~ 20	本科12月度③			9:30~13:00 冬期準備テスト

Z会の教室

Z会進学教室 葛西教室

〒134-0084 江戸川区東葛西 6-2-3 第三須三ビル 6階 TEL03-5878-0844

受付時間 平日 14:00~22:00 日曜日・講習中 10:00~20:00

『葛西通信』の記事（バックナンバー）は Web からご覧いただけます。

Z会 葛西 検索